

# の知床科学委員会しんぶ

## 海域ワーキンググループ

No.11



「海域ワーキンググループ」では、知床の海の生き物、 漁業やレクリエーションなどの活動に関して、科学的な 視点から評価と検討を行っています。

## ◆◆◆ 長期モニタリングの評価

知床の自然を将来にわたって引き継ぐためには、様々な科学的データを集めて分析し、 状況の変化に合わせて適切に管理を行う必要があります。

科学委員会では継続的な調査や情報収集を実施しており、海域ワーキンググループ では、海域に関係する評価を行っています。

2012年度から2021年度の10年間で得られたデータによる評価は次のとおりです。 知床の海域は概ね良好に維持されていますが、ケイマフリを除くウミネコ・オオセグロ カモメ・ウミウの営巣数が大きく減少しており、原因を明らかにする必要があります。

モニタリング項目	評価基準	評価
アザラシの生息状況の調査	アザラシ絶滅のおそれが生じ ていないか	
海域の生物相、及び、生息状況(浅海域 定期調査)	遺産登録時の状況が維持されているか	
浅海域における貝類定量調査	遺産登録時の状況が維持されているか	
ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウ ミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査	遺産登録時の営巣数が維持されているか	
海ワシ類の越冬個体数の調査	遺産登録時の営巣数が維持されているか	
スケトウダラの資源状態の把握と評価 (TAC設定に係る調査)	登録時の資源状態を下回って いないか	
オジロワシ営巣地における繁殖の成否、 及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング	遺産登録のつがい数等が維持 されているか	
海水中の石油、カドミウム、水銀などの分析	基準値以下の濃度か	

#### 評価記号の意味



評価基準に適合しており、 状況が維持されている



評価基準に適合しており、 状況が改善している

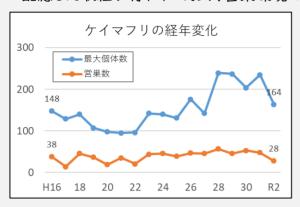


評価基準に適合しておら ず、状況が悪化している

### モニタリング結果からわかること(海鳥)

#### ケイマフリの営巣数

世界遺産登録時から営巣数は横ばい傾向にあり、個体数が維持されています。 トークシモイ(こけし岩周辺)では、例年0~1巣であった営巣が、平成30年には7巣、平成31年には6巣が確認されました。観光船が繁殖崖への接近を避けるなど、海鳥の生息に配慮した取組が行われており、営巣環境の改善につながっています。



#### ケイマフリ

アイヌ語で「ケマフレ=赤い足」を意味する海鳥で、切り立った断崖の隙間に巣を作り、イカナゴ などの魚を食べて暮らしています。

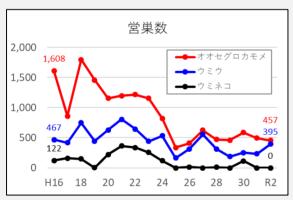
環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危 険が増大している種)に位置付けられています。



#### ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの営巣数

営巣数は急速に減少しており、直近10年間の減少割合はオオセグロカモメ60%、ウミウ30%、ウミネコ100%となっています。

世界遺産登録時から状況が悪化しており、捕食者(オジロワシ、ヒグマ)の影響や餌資源の変化など、減少の原因を明らかにし、改善すべき点があるかを検討する必要があります。



#### 作図データ出典 知床国立公園における海鳥の分布調査等業務(環境省) 海鳥営巣経年(ウトロ海域環境保全協議会)

## ~知床海域の今~

「北海道水産現勢」によると、羅臼町と斜里町の2020年漁獲量は30年来のそれぞれワースト2位と1位となってしまいました。サケ、スルメイカにスケトウダラといった主力魚種の低迷には環境要因が大きく影響しているようですが、今後はこれにコロナ禍による需要減や魚価安といった社会的影響も加わってくるため、いっそうの注視が必要です。

(海域WG座長:山村織生)

会議の内容をもっと知りたい方はこちら

知床データセンター

http://dc.shiretoko-whc.com/



これまでのモニタリング結果や、会合での資料なども ご覧いただくことができます。

◆お問い合わせ先◆

北海道環境生活部環境局自然環境課 〒060-8588

札幌市中央区北3条西6丁目 電話 011-231-4111 (代)

内線 24-357

<令和4年(2022年)3月発行>

ます。 知床は、陸域だけでなく海域がある 知床は、陸域だけでなく海域がある 知床の生態系の複雑さや豊 がさの変化を考えていきたいと考えています。研究面でも近年、アザラシのかさの変化を考えていきたいと考えています。 かます。 研究面でも近ばが大きく変化しています。 研究面でも近ば、海域の高次があるであり、 近年の地球温暖化等の環境変があるの変化を考えていきによって特徴づけられる地域です。



委員の 小林です

東京農業大学 生物産業学部 海洋水産学科 教授 海域WGでは、アザラシの分類評価を担 当しています。